

平成20年1月16日

ダム守同心情報連絡票(第22号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. 放流警報の吹鳴(すいめい)試験を行います。

灰塚ダム～馬洗川合流点までの上下川には、放流警報局が15箇所あります。この警報局は、“ダムの上流で降った大雨”により、下流河川の水位が急激に上昇する場合に、川の中で遊んでいる人、釣りをしている人などに対して、河川内からの退去や川へ近づかないように注意を促す目的で、アナウンスとサイレン(もしくは疑似音)を鳴らします。

今年度は、5月28日にスピーカーとサイレンの試験を実施し、正常に動作することを確認していますが、今年は雨が少なく、(良いことですが)1度も放流警報の出番がなかったため、再度正常に動作することを確認します。

試験は、灰塚ダムから警報局毎にスピーカーとサイレンを鳴らし、下流の警報局へ向かって確認します。

付近にお住まいの皆様へは、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



試験実施日時:平成20年1月24日(木)

2. 噴水もちょっと一休み。

1月28日(月)～2月1日(金)の予定で灰塚ダムの管理用水力発電機の点検を行います。点検期間中は、発電を行えないため灰塚ダム湖の噴水も終日休止させていただきます。

3. 灰塚ダム諸量

本日のハイヅカ湖への流入水量は毎秒2.6m³、ダムから下流への放流量は毎秒1.5m³です。

先週末の降雨で流況も改善し、ダム貯水率も80%にまで回復しました。
灰塚ダムの下流においては渇水の心配は今のところありません。

5. 本号の最後に

ハイヅカ湖 歓交フォトコンテスト入賞作品を中心として展示される「ハイヅカ湖 歓交写真展」がカフェレストラン湖畔の森で開催されます。

写真を通して、この地域の素晴らしさが、湖畔の森を訪れる方々の心を豊かにすることでしょう。

いろいろなフォトコンテストを目にする機会がありますが、里山の風景が多く寄せられているように感じます。それだけ私たちの心を引き付けるのだと思います。

現在、森林文化協会などが「にほんの里100選」を募集中のようです。選考委員長が寅さんの山田洋次監督というのはなるほどと感じるのは私だけでしょうか。（ホームページは、<http://www.sato100.com/index.html>）

ハイヅカ湖地域こそ、これぞ「にほんの里」と感じさせる景観や人の営みなどが沢山あるのではないのでしょうか。

沿岸の景観などについても、この素晴らしい地域にふさわしいものになるように、「ハイヅカ湖地域ビジョン」などで皆様方と共に努力してまいりたいと考えています。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

支所長 今岡 俊和 (imaoka-t87mb@cgr.mlit.go.jp)
事務係長 片山 直行

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話：0824-44-4360(代) FAX：0824-44-3544